



神奈川県 様

～ 自治体向けRPAソリューションOCEVISTAS ～

RPA実証事業にてRPAの正確性、迅速性、継続性を検証

神奈川県(以下、県)は、平成29年2月に知事を本部長とする働き方改革推進本部を設置し、全庁をあげて働き方改革に取り組んでいる。こうした中、定型的な作業の効率化を図り、働き方改革を推進し、県民サービスの向上につなげるため、RPAの実証事業を実施し、正確性、迅速性、継続性の3つの指標により、RPA導入効果を検証した。

〈実証事業の結果概要〉

1. 実施期間

平成30年9月21日から12月28日まで

2. 対象業務

①通勤手当の認定

人事異動や転居の際に、職員から提出された通勤届の内容を確認する業務

(平成30年度4月・5月給与事務センター認定分：2,227件のうち、徒歩通勤や交通用具のみの利用を除く1,981件)

②災害時の職員の配備計画の作成

勤務時間外・休日に災害が発生した場合の配備人員を調整し、名簿を作成する業務

(平成30年度応援参集職員：1,314人)

3. 結果概要

①通勤手当の認定

- ・人による認定結果と比較し51.3%が一致
- ・1件当たりの処理時間20分の作業を7分で実行
- ・24時間処理可能であることを概ね確認

②災害時の職員の配備計画の作成

- ・設定した処理条件において確実に処理
- ・全体の処理期間が約30日の作業を約5日で実行
- ・24時間処理可能であることを概ね確認



RPAにも注目しており、いくつかの事業者からご提案をいただいていたのですが、中でも特に富士通株式会社と株式会社大崎コンピュータエンジニアリングから、より県の業務に沿った具体的なご提案をいただいたので、今回ご協力いただいて実証を行いました。

〈RPAの実証されてみて感触や成果〉

実際に触れられたことは非常に有意義でした。一番強く印象に残ったのは、処理ロジックを柔軟に改善できることです。従来型のシステムでは難しい、成果物を確認して、ここは少し直したいという所がすぐ直せ改善できることに利便性であったり効果を感じました。今回は、休日や夜間もRPAを活用しましたので、人手では出来ない時間帯でも活用できると、非常に効果を得られることも検証できました。

今後は、より業務を増やして、効果を高めていけるようにしていきたいと考えています。

〈今後の取り組みについてお聞かせください〉

今回の実証事業の対象業務はかなり複雑でしたが、それでも大半の業務が自動化できました。このような業務は県にはたくさんあると考えています。今回の実証結果をしっかりと県庁内に伝えて、業務の見直しのきっかけにさせていただきたいと考えています。



神奈川県総務局 ICT推進部情報企画課様

〈お客様概要〉

名称：神奈川県
 面積：2,416.17km²
 人口：9,179,835人(2018年10月1日現在)
 URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/>

〈RPAの実証を始めるきっかけ〉

働き方改革を推進する上で、様々なICTをいかに上手に活用するか、日頃から情報収集しておりました。

株式会社大崎コンピュータエンジニアリング

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー2階
 TEL：03-3492-0931(代表) [URL]：<https://www.oce.co.jp/>

